

研究推進部会全体の成果と 展開枠への進化について

研究推進部会の運営・取組

運営方針

1. IoPクラウドのメインエンジン（生理生態AI&営農支援AI）の研究開発強化
2. 研究+政策+産業振興の視点でPDCAを徹底、KPI達成に向けて課題の選択・集中（当初:77課題→R1: 63課題→R3:30課題）
3. IoPクラウドとの共進化、IoPプラットフォームの中長期的価値の永続的創出

令和4年度研究発表会・中間評価の概要

研究予算の効果的な配分を実施するため、令和3年度同様、令和4年度においても研究費の20%については高知県で留保し、研究推進部会で研究発表会及び中間評価を実施のうえ、評価結果に基づき再配分を行う。

令和4年度IoPプロジェクト研究発表会

- 小課題研究（30課題）
令和4年7月25日～8月8日 ※オンデマンド配信

令和4年度 中間評価

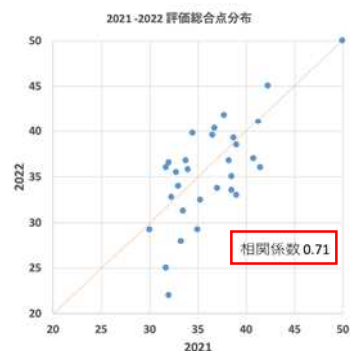
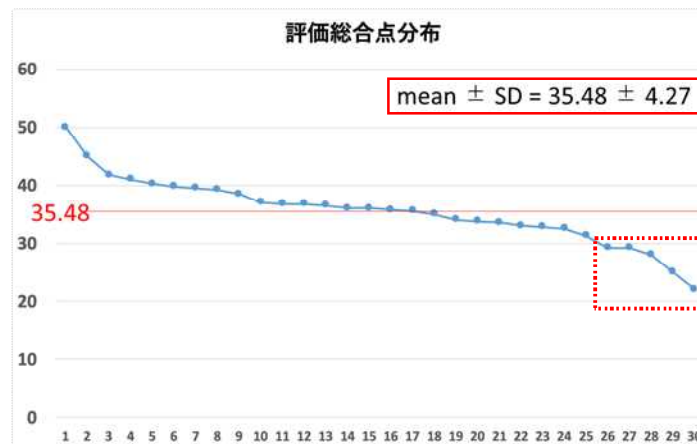
小課題研究30課題について中間評価を実施
評価期間：令和4年7月25日～8月2日

- 評価項目（50点満点・重み付け配点）
 - ① 目指す成果の妥当性とKPIへの寄与（5 X 2 = 10点）
 - ② 進捗状況（これまでの研究成果）（5 X 3 = 15点）
 - ③ 2027年までの研究計画・ビジョン（5 X 1 = 5点）
 - ④ 実装・普及への実現可能性・プロセス・高知県との連携状況（5 X 3 = 15点）
 - ⑤ 研究成果広報用資料（5 X 1 = 5点）
- 評価者
部会長・中心研究者・大課題リーダー・高知県担当者 計10人の評価者のうち、各課題につき4人が評価を実施（各課題に高知県担当者を必須とする）

IoPプロジェクト
HPに特設サイトを
作成し公開予定

評価結果

- 30課題平均：総合評価 35.48点（50点満点）
（評価項目ごと）
 - ① $3.62 \times 2 = 7.24$ 点（10点）
 - ② $3.68 \times 3 = 11.04$ 点（15点）
 - ③ $3.36 \times 1 = 3.36$ 点（5点）
 - ④ $3.58 \times 3 = 10.74$ 点（15点）
 - ⑤ $3.09 \times 1 = 3.09$ 点（5点）



- 令和3年度中間評価結果
平均点：36.35点、SD：±4.00
→昨年度に比べて、若干ばらつきが大きくなった。
特に下位の得点が下がった。
- 2021-2022の評価結果の相関について
→評価項目に変更はあるが、相関あり

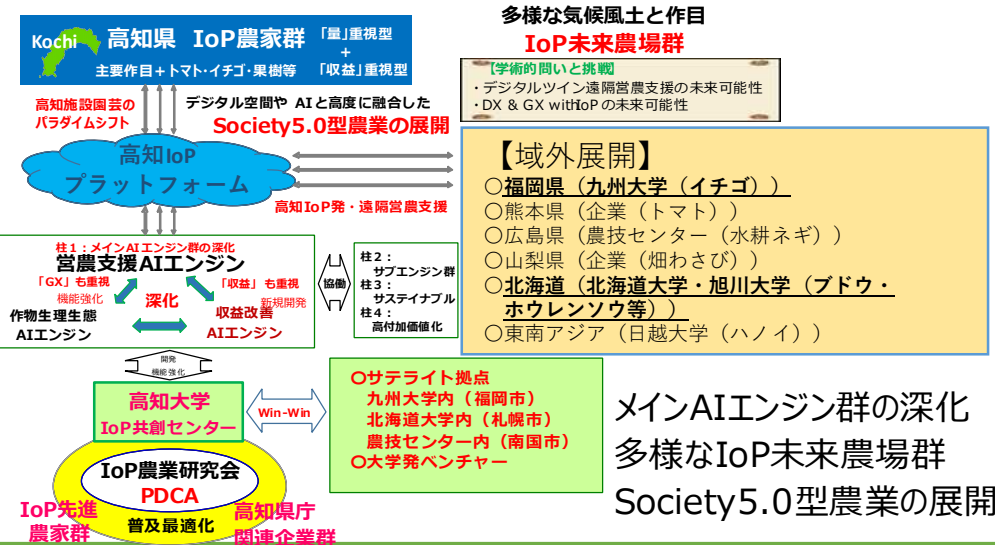
今後の課題・展望

- ✓ プロジェクト自走期間（R5～R9）のKPI達成に向けたマネジメント
- ✓ 実装・普及に向けた取組みの推進（農家・JA・消費者との架け橋、企業との架け橋）
- ✓ 「展開枠」に向けた研究課題の創出・実施体制の構築

「展開枠」への進化について

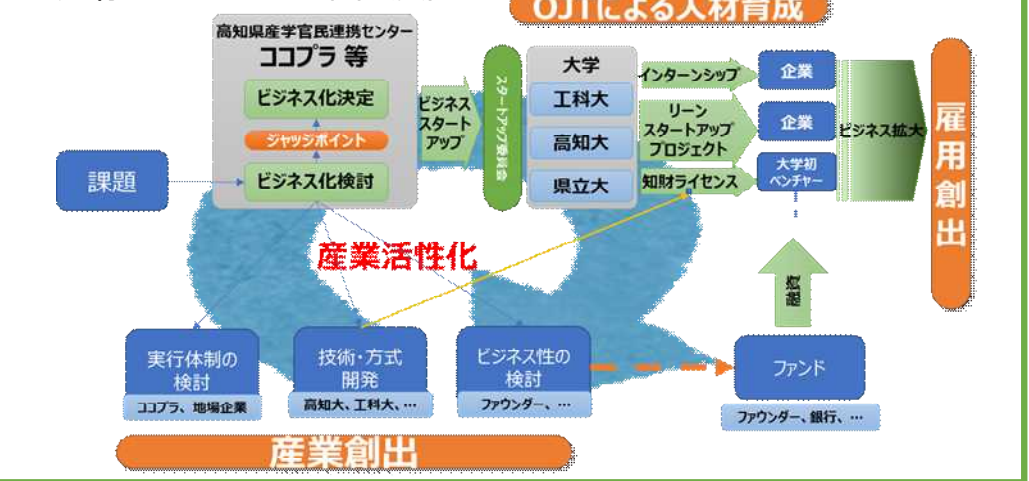
(柱1) メインAIエンジンの深化とIoP未来農場群によるSociety5.0型農業の展開

無理なく無駄なく、楽しく稼げる「高知IoP発 Society5.0型農業」のボードレス展開によるNext次世代高知施設園芸の未来可能性



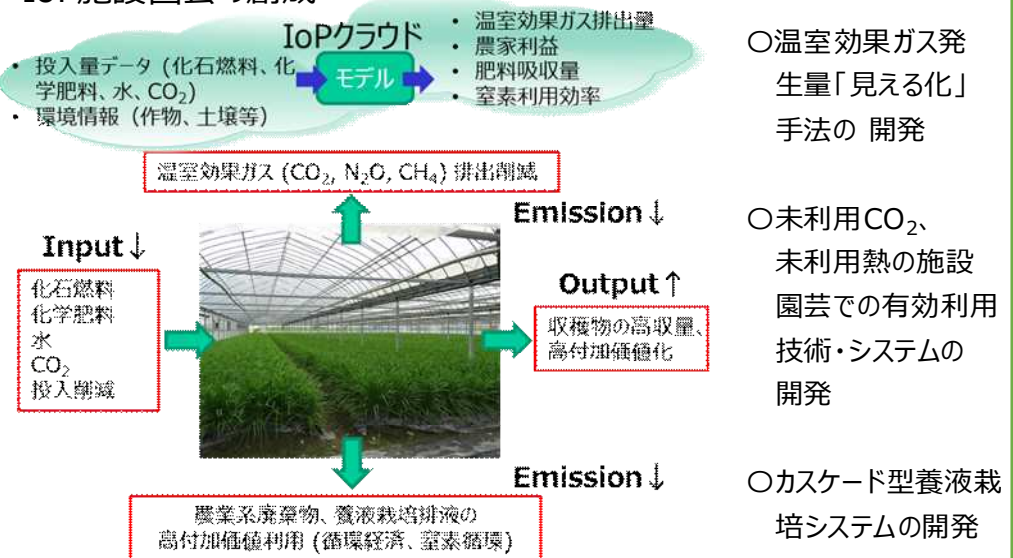
(柱2) サブエンジン群の新規開発

IoPサブエンジン群の充実とNext次世代連携プラットフォーム構築
○地域自律的課題解決による産業創出・雇用創出・人材育成
○IoPクラウドを『Next次世代連携プラットフォーム』へ進化させ、多様なサービスを全国に展開



(柱3) サステイナブル with IoP

カーボンニュートラル、循環経済、窒素循環に資するサステイナブルなIoP施設園芸の創成



(柱4) 新たな高付加価値化等

倫理的消費(エシカル消費)推進によるIoP野菜のブランディング戦略
○地域住民へのIoP野菜を使った食サービスやヘルスケアサービスによりコミュニティ形成を活性化し、地域住民参加による共助や世代間の交流などを通じた街づくりを目指す。

